

情報

No.580

島根県教職員協議会

〒693-0011

出雲市 大津町2214

Tel 0853(22)7762

Fax 0853(22)7762

代表者 安達利幸

編集人 石原康博

E-mail

office@kyougikai.org

http://

www.kyougikai.org

第一回 教育講演会開催報告



十月二十八日(日)、島根県教職員協議会の結成記念日であるこの日、倉敷市立短期大学教授の平山諭氏をお迎えして、平成十九年度の資質向上プログラム、第一回の教育講演会を開催した。

平山氏は、脳科学を子育てや教育に活用する実践スキルを開発し、脳科学や臨床栄養学の知識やスキルを用いて、最近の気になる子どもたちの子育てを提案されている。大豆由来のリパミンPSがADHD症状に有効であることをほぼ解明された。

非常に分かりやすく、丁寧に、授業や生活指導上の注意点、改善していくべき点などをお話しいただいた。また、ADHD・PPDの症状をおさえる効果がある栄養素を、具体的に示していただいた。

特に、後半の授業の様子をビデオで見ながら、「ここの指導がまずい」、「この子に対して、こういう対応をするとうい」と、お話しただいたことは、明日からの授業に大いに役立つものであった。ただ、講演時間がもう少し長いと、用意されていたビデオが全部見られたのにと残念であった。

今回の平山氏の講演会は、参加者からパート2を望む声がたくさん聞かれるほど好評であった。平山氏には、すでに来年度の講演を依頼し、承諾を得ている。

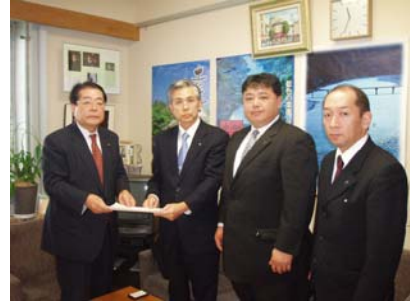
【参加者感想】

- ・とても参考になりました。地域全体で、全教職員が聞くことができたから、(せめて自分の学校でできたら)今の学校全体の困り感が解消するのにも思いました。この話をどれだけ、今困っている人に伝えられるかです。
- ・脳の発達が違う子どもたちに、以前と同じやり方では通用しないこと、食の影響力が大きいこと等、現場の教育全員が知った上で教育にあたらなければいけないと強く感じました。
- ・間違った考えもあったことに気づけたこと、明日早速使えるテクニクを学べ、大きな満足感と学びがありました。
- ・今日は、あつという間の講演時間で、もっともっと聞きたい気分がいたしました。次の「原田氏」と併せて聞き、人を育てることについて見識を深めたいです。
- ・すばらしかった。こんなに明確に話される方ははじめてです。続編を期待しています。
- ・子どもの脳を心地よくさせることが、支援を必要としている生徒だけでなく、大半の生徒に必要だと思いました。
- ・平山先生のお話は二度目でした。前回の講演以降、早速先生のスキルを取り入れてかかっています。子どもの反応、確実に変化しています。
- ・やっぱり一時間一時間の授業を意味のある、しっかりとした授業とする力を教員がもつことが一番の学力を高める近道だと思いました。
- ・えてして、今までの経験からくる「かん」で対応しがちな自分がいまですが、科学の目で、今日のように分析・説明されると、どうしていいか混乱していた状況の整理がついた気がします。
- ・もっと多くの悩める職員で聞くとよい話だと思いました。



今年度ボーナスのカット 0.1月分に

十月三十日(火)、県執行部と県職員労働組合の最終交渉が行われた。この日は、給与の特例減額にあわせて、県人事委員会から出された勧告についても話し合いが行われた。県執行部から、「財政健全化基本方針」に基づく給与カットの継続が提示された。また、知事から、県人事委員会の期末勤勉手当0.2月分カットという勧告を、本年度の期末・勤勉手当の引き下げについて、管理職以外の職員に対しては0.1月分とするとの考えが示された。



石田祝稔議員に要望書を提出

十一月五日(月)、六日(火)、全日教連は、衆議院・参議院の与党国会議員に第8次中央要請行動を行った。「文教予算の確保」について、全日教連からは、植田宏和委員長をはじめ副委員長・執行委員等が参加し、島教協からは石原事務局長が参加した。

【要望内容】

①「教員が子供と向き合う時間を拡充し、きめ細かい指導を行うために、教職

員定数の改善に必要な予算を確保すること」

②「人材確保法の趣旨を尊重すると共に、教職員の勤務の特殊性と職務の重要性に鑑み、教育専門職としてふさわしい給与・待遇に改善すること」

③「国が責任をもって、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、さらに充実した制度を確立すること」

④「地方公共団体の財政状況によって、教育環境に地域格差が生じることがないように、十分な文教予算を確保すること」

島根県教育委員会
永年勤続教職員等表彰

11月6日、「サンラポーむらくも」にて、以下の会員の方々が、永年勤続者として表彰をうけられました。

- 黒目 都氏(内中原小)
- 野津 節子氏(大庭小)
- 原 政子氏(今市小)
- 曾田美也子氏(四絡小)
- 吾郷ふみこ氏(久多美小)
- 山代 早苗氏(須佐小)
- 阿川真寿美氏(遙堪小)
- 杉山 悦子氏(波多小)
- 稲田 節子氏(海潮中)
- 橋本 郁子氏(西野小)

おめでとう ございます

学校紹介

雲南市立掛合小学校

掛合小学校は、雲南市の西部、掛合町のほぼ真ん中にある小学校です。全校児童92名の小さな学校ですが、掛合町内では、一番人数の多い学校です。全体的に明るく素直な子供たちで、学習にも運動にもめあてをもち、一生懸命に取り組んでいます。休憩時間には、たくさんの子供たちが校庭に飛び出し、異学年で交流しながら、元気いっぱい体を動かしています。来年度の統合を控え、思い出に残る1年にしようと、いろいろな記念行事が計画されているところです。

今年度は、平成17、18、19年度文部科学省指定「確かな学力育成のための実践事業」最終発表会が、12月6日(木)に本校で行われます。

掛合推進地区の研究主題「共に学び合うなかで、自分を高める子どもの育成」とともに本校独自の研究主題「ことばの力を高め、主体的に学習する子どもの育成～日々の授業、日常活動、家庭連携の充実を軸にして～」に基づき、国語科、算数科の授業実践を積み上げているところです。

益田市立真砂中学校

真砂中学校は、益田市の緑の囲まれた山間地にあります。今年度の全校生徒はわずか7名。島根県下でもっとも小さな中学校です。春には校舎を取り囲む50本の桜が見事に咲き誇り、子どもたちを迎えます。豊かな自然と地域の人たちに支えられ、人数は少なくとも諸活動に一生懸命取り組む明るく素直な生徒たちが、真砂中一番の自慢です。

教育講演会 受付中

12月4日(火) 原田隆史氏
(TV「情報ライブ ミヤネ屋」出演中)

12月15日(土) 阪根健二氏
12月は生徒指導スキルアップ月間

お願い

原田隆史氏の講演会は、申し込まれた方のみ資料をご用意いたします。申し込みをされないと当日入場できないことがあります。

△専従の気になる本の紹介▽
ビリーのブートキャンプに入隊しても、続かないときは続かないのです。なぜなら、人は楽がしたいから。しかし、楽をしたら変われないんですね。
コップに注がれた水を半分飲んだとしましょう。あと半分しかないと思うのか、まだ半分あると思うのか。ちよつとからはじめる意識改造の楽しい話。

「夢をかなえるゾウ」

(水野敬也著 飛鳥新社)